



こほく台

地区社協だより

第60号

発行日 平成27年3月6日

編集・発行

湖北台地区社会福祉協議会

広報部会

〒270-1132 湖北台3-1-1

電話 (04)7188-1410

「お休み処」 新春のつどい開催

ひつじ年、明けて、1月23日（金）午後2時から、「お休み処」新春のつどいが開かれました。前々日からのみぞれや雪もあがり、陽差しの中お客様、スタッフの皆様大勢集まって下さりありがとうございました。

迎えた新年のお祝いと、暖かい春の訪れを待ち望みながら、快いひとときを楽しみました。「尺八とお琴の音色と調べ」「南京玉すだれと手品」「腹話術」に加えて、我孫子警察交通課より、高齢者交通事故防止のお話がありました。最後にお琴の伴奏で、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」の合唱で盛り上がりました。少しずつ日が延びて、明るい時間が長くなりますが、交通事故にあわず、無事に春を迎えられますように。今年もお元気に、お出かけ、お買い物のついでに「お休み処」でお茶をお楽しみ下さい。皆様のご利用、ご協力ミニイベントの参加も、スタッフ一同、お待ちしております。



琴と尺八の演奏

古泉さん



南京玉すだれ

小林さん



腹話術

島田さん



蝦名さん 向さん 藤井さん

交通事故
防止のお話



みんなの力で地域住民の福祉向上を 「新年の集い」 開催

湖北台地区社協恒例の年頭行事「新年の集い」が、1月22日（木）星野市長をはじめ多数のご来賓をお迎えして、総員60名をこえるご参加をえて、湖北台近隣センター多目的ホールで開催されました。

鈴木幸子会長の挨拶の後、星野順一郎我孫子市長、鈴木孝我孫子社会福祉協議会会長、木村得道我孫子市議会議長から、日頃の地区社協活動への謝意と今後とも手をたずさえて住民福祉向上を推進しようとのご祝辞をいただきました。来賓（佐々木豊治、早

川真、飯塚誠、関勝則各市議、星野征夫湖北台地区まちづくり協議会会長、山崎哲彦湖北台自治会連合会会長、中村富士夫湖北台中学校校長、小林道治湖北台東小学校校長）の紹介があり、住民と参加者の健勝を祈念しての乾杯の後、賀詞交換に移り、なごやかな歓談の時間を過ごしました。「明るく健康的で住み良い湖北台のまちづくり」のため、さらなる努力を積み重ねていくことを誓い今年の門出とし散会となりました。

第3回「湖北台見守り組織交流懇談会」 開催

今年度3回目の「湖北台見守り組織交流懇談会」が2月10日（火）夜、湖北台市民センターで開催されました。日頃“日常的に、それとなく、周りから”独居高齢者や認知症の方々などを対象に、地域で見守り活動をしている組織が年3回一堂に会し、活動

状況の報告や情報の交換を行い、より一層の礼動向上を図るための集会でした。この日も報告・交換のあと、出会いやあいさつの大切さや、丁寧でやさしい、おさそいなど、心をこめた対応をしていくことを再確認して散会となりました。

介護予防講座開催

12月4日（木）湖北台近隣センターにおいて湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室と共催で、千葉県福祉プラザ介護予防トレーナー 磯野浩市氏のご指導のもと「転ばないための体操教室」を開催しました。

介護予防とは、要介護状態になることをできるだけ防ぐ（遅らせる）こと、さらにすでに要介護状態なってもその悪化をできるだけ防ぐことです。

年齢とともに視力・聴力・平衡機能・反応力などの機能面が低下してきます。

ロコモティブシンドローム<ロコモ>、日本語では「運動器症候群」といい、足腰が弱くなり、転倒・骨折の危険性が高くなった状態を示す新しい言葉です。

電話訪問のご利用を

電話訪問は“もしもし”と電話をして安否確認とお話をする活動をしています。

社協の事務所から専用電話で利用者さんのご都合にあわせて定期的に電話をしています。利用は無料です（月曜日から金曜日：午前9時30分より）

お気軽にご利用ください。ご連絡をお待ちしております

状況の報告や情報の交換を行い、より一層の礼動向上を図るための集会でした。この日も報告・交換のあと、出会いやあいさつの大切さや、丁寧でやさしい、おさそいなど、心をこめた対応をしていくことを再確認して散会となりました。

今回はロコモを主体に、形態面・機能面の身体の変化などについて、対処方法、予防方法について解りやすく解説をしていただきました。

つづいて、全員でロコモ予防に役立てるために骨・関節・筋肉・神経などを意識した簡単な体操を、会場の多目的ホールいっばいに広がって体験しました。

当日は50名を超す大勢のご参加をいただき、「とても参考になった・自分でも簡単にできそう・・・」などの声が多く、盛会でした。

第14回 湖北台福祉バザー

日時： 6月13日（土）11時～14時

場所： 湖北台近隣センター

皆様のご協力をお願いいたします

第16回 認知症サポーター養成講座開催

2月5日(木)湖北台近隣センターで認知症サポーター養成講座を開催しました。当日は講師にキャラバンメイトの星良子さんをお招きし33名の参加をいただき約2時間の講習会を行いました。

いまから10年後には65歳以上の5人に1人、約700万人が認知症と推計されているそうです。

1月に「認知症国家戦略」が発表されましたが、その中に認知症サポーターの養成目標を600万人から800万人に引き上げる〈2017年末〉ことが盛り込まれるなど、重要なテーマと認識されてお

ます。

当地区社協は、平成19年以来、継続してこの講座を行ってまいりました。今回16回目で累計受講者569名となりました。また台中生向けの講座も6回を数え、台中生だけで累計700人を突破しております。

今後も定期的にこの講座を企画したいと思っておりますので、大勢のご参加をお待ちしております。

八丁目見守りの会「県知事奨励賞表彰」

2月3日千葉県健康福祉部長から湖北台八丁目見守りの会(会長 白川昌子さん)あて「ちばSSKプロジェクト(しない、させない、孤立化!)」高齢者地域支え合い活動団体表彰「奨励賞」に決定し

た旨の通知がありました。

3月8日(日)表彰式が千葉市で行われるとのことです。おめでとうございます。

介護予防講座〈口腔ケア教室〉・・・お知らせ

日時： 3月20日(金) 13時30分から15時まで
場所： 湖北台近隣センター大会議室
内容： 長寿をめざして 口腔ケア教室
歯科衛生士の皆さんによるわかりやすいお

話です

参加費：無料

先着30名まで(要申込み)

湖北台地区社会福祉協議会 7188-1410

ご寄付ありがとうございました

インクカートリッジ・古切手・使用済みカード・現金
12000円(匿名)・山岸広志様(10000円)・
湖北台教会教会学校(3000円)・奥様・忙閑子様・
海老沢義一様・セブンイレブン湖北台駅前店様

・渡辺アツ子様・藤田嘉代子様・戸川正様
・清水正俊様・吉岡様・(有)ダイヤモンド様
・桑島様・板倉憲一様・山崎操子様・戸山光晴様
・海老澤様

鯉のぼり祭り・・・お知らせ

日時： 5月5日(火) 10時から
場所： 湖北台中央公園 地区社協ブース
において
内容： ぬり絵の鯉のぼり・かざぐるま・兜・剣
・綿あめ など

子供さん向けに無料で提供します。

同日に、自治会連合会・まち協・社協共催による「第2回湖北台を歩こう」を予定、詳しくは追ってお知らせいたします。

金山みさお 操すささんのこころ遊び 五丁目在住

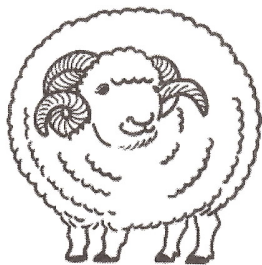
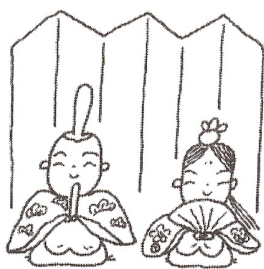
金山さんは、現在の福島県南相馬市のご出身、四年前の三月十一日の「東日本大震災」の津波で、家屋七十戸の全戸が流失し、住民五十四名が犠牲になってしまった。海岸から六〇〇メートルの所にあつた集落でしたが今は塩害のため、そこには誰も住んでおりません。先祖代々の墓も流され、心の寄りどころがなくなつてしまいました。「本当に悲しいこと」です。操さんは十六歳で東京の旧国鉄の試験を受け合格し十七歳で田端機関区で機関車の仕事をされた。機関車の何処かが動かなくなつたり不具合があると、休日であるのが夜であるうがおかまいなしに呼び出しがかり出かけたものです。今なら電話やメールで連絡がとれますが、当時は人から人への伝令でした。どんな時でも家

内(かない)はいやな顔ひとつせず快く仕事へむかわせてくれた。ありがたい事でした。昭和十六年にはSL機関士となり、戦争中アメリカ軍の艦載機に何度も襲撃されました。住んでいた原宿、渋谷が上空襲にみまわれ隣人がばたばた倒れていく中、背負っていた防毒用マスクに気が付きそれが幸いし手や顔を焼かれながらも身を守つてくれた。そのおかげで命が助かることができました。五十五歳で退職し新木に家を建てその後湖北台へ越してこられた。丁度その頃の流行語は退職した夫が家庭や妻に疎まれ「濡れ落葉」と呼ばれていた。操さんは絶対この言葉のようになりたくないと思

い、長寿大学や県老人大学へ五年間通い、六十二歳からは公益財団法人野村生涯教育センターへ毎月定期的に通い、JRの代々木駅まで通い九十四歳の現在も三十二年間の長い期間学び続けていらつしやる。本当に「一生勉強」を地でいつていらつしやる方ですね。奥様も長寿大学で学ばれていた。奥様は相馬六万石の家老の曾孫で小学校二年生まではお付きの女性が付いていたとのこと。「御姫様育ちの私をここまで育てくれたお父さんにいつも感謝している」と口癖のように言つてくれた家内も「ありがとう」「ありがとう」と二度繰り返し平成二十一年に静かに旅立つていかれた。そんな仲の良いご夫婦であつたことは操さんの小さい頃、お母さんが多忙な農作業中でも月二回お寺に行つてお坊さんの説教を聞いたり六歳頃までに、お経を暗記したりと仏の道の教えをしつかり身につけられ、新木へこられても真栄寺さんへ通い深く々々考える人であつたからだと思われる。又お母さんが小学三年生から夜の炊

事を自分に任せ将来自立に役に立つように教育してくれたことにもよる。親の教育、仏の教えが操さんの人格の原点になつておられる。今は夕食だけはお嫁さんに作つてもらつてゐる。特にお嫁さんには感謝しております。一日おきに散歩を兼ねた買い物、お休み処での憩い、知人との会話、息子さんとの朝刊での会話、靖国神社、成田山、寒川神社へのお参りや柏へ頭の活性化を考えての外出、百寿会、温泉など楽しいことがいっぱい。毎日充実した生活を過ごされている。沢山の「生きる知恵」が詰まつている操さんのお話、もつともつと多くの方に知つてもらいたいと思つた。

(福)



編集後記

3月に入りました。春はもうそこまで。桜の開花のニュースも聞こえてきます。

社協だより60号を届けます。ご意見、ご希望をお寄せください。